

# 吉田統括監だより 第17号

地域密着型ヨソ者集団が町民のみなさまや役場、町内各団体と共に実践する『未来づくりプロジェクト』が、いよいよ本格化しております。本号では、その一部を町民のみなさまにご紹介します。

**県内初!!**

## 1) フランス有数の農業大学院が当町への研究生派遣の為の調査に訪れます。

世界トップクラスの高付加価値型農業先進国フランスの農業大学院と当町は、錦江町農業における課題解消や更なる成長に繋げるべく研究の場を提供することになり、フランスから担当教授が視察訪問されます。

国際的学術機関との関係構築は、町内の子どもたちに対し、農業を介した国際理解教育にも寄与できる大変貴重な取り組みとなることでしょう。

**県内初!!**

## 2) 空き屋バンク登録コンテストを開始します。

今回は『空き屋』対策プロジェクトの第2弾として位置づけ、町議会議員によるボランティアグループ『あなたの移住応援します隊』や役場の支援を受けて実施する事業です。

詳細は広報誌と一緒に配布するパンフレットで確認をいただきたいのですが、コンテスト詳細内容はもちろんのこと、どうして空き家対策が必要なのか、空き屋バンクの仕組みについて、空き屋対策補助金についてなど、出来るだけ分かりやすく説明をしています。

このコンテストが、空き屋問題を行政ごとから自分ごとへ、意識の転換が図られるきっかけとなれば幸いです。多くの町民のみなさまのご参加をお待ちしております。

**県内唯一!!**

## 3) 未来想像創造コンテスト

3月から7月まで手を挙げてお集まりくださった町民のみなさまによる『錦江町版百人委員会(実証実験)』でふるさと納税の『使うべき対象』について話し合い、決めていただきました。

本コンテストでは『使うべき対象』に対して『どう使うべきか(手段)』をご提案いただきます。ちなみに、今回は町外に住む町出身の方々にもご参加いただけるようにしました。この機会に、町民のみなさまが錦江町の『現在』を見つめ、『未来』を考えること、町出身者さまが錦江町の現状を理解し、想いを馳せるきっかけになれば幸いです。

詳細は広報誌と一緒に配布するパンフレットもしくは役場HPにて確認ください。

**COOL アグリ プロジェクト／農産品流通革命の旗手を田代地区にお招きしました!!**

## 4) 農産品流通革命を巻き起こしたビジネスマンのお話が大盛況でした!!

北海道から鹿児島まで全国約3,600戸の農家と、東京都内約4,000軒の高級レストランを直接繋ぎ、自社物流で食材を届ける革新的な仕組みを構築し、高単価で農家さんと取引きすることで、急成長を遂げている『プラネットテーブル』の菊池社長にお越しいただき、現在の農作物における『流通の問題点』に関する講演を兼ねた仕組みの説明をしていただきました。

非常に現実的かつ具体的な内容に『目から鱗』の農家さんが続出し、昼の部24名だった参加者が、夜の部には40名もの方々が話を聞きに来られ、盛況な講演となりました。早速、取組み希望を表明した農家さんは16戸にのぼり、関心の高さを感じました。

同社とは、今後とも連携を図って参りますので、興味のある方は協議会までご連絡をお願いします。(錦江町まち・ひと・MIRAI創生協議会 担当:小松 ☎25-1001)